

第 1 回意見交換会でお示しいただいた主なご意見 (新たな視点など)

「安全・安心」関係

- ・災害時に備えた「情報の見える化」を。避難所運営、要支援者救助、情報共有の具体化。
- ・災害時の病院間連携のための電子カルテの標準化を。
- ・医療・福祉業界の人材不足は深刻で、楽しく誇りを持てる業界だと発信を。
- ・障がい者は「支えられる存在」ではなく「地域社会を支える担い手」として参画できる。
- ・体力や意欲の高い高齢者は多く、社会との関わり方や参画の仕組みが必要。
- ・子どもの頃から、結婚・出産を当たり前と思ってもらえるようにプランニングを。
- ・外国人を労働力にとどめず、地域住民として支える視点を。課題解決は官民連携で。

「産業・経済」関係

- ・愛知県に通う人、愛知県から通う人も「地元民」と捉えた政策展開を。
- ・国が示す重点 17 分野と連動した政策を。
- ・農業体験からスタートアップへの結びつけを。基幹的農業従事者の維持回復が不可欠。
- ・地形に合わせた細分化した新たな森林づくりが必要。エネルギー源としても活用を。
- ・賃上げでは、企業規模間格差、業種間格差、地域間格差、男女間格差が課題。
- ・直ちに対応すべき課題と長期スパンで取り組む課題を明確に分けて。市町村との連携も。
- ・地方創生には、教育、研究、医療、国際化など、地域の各セクターが一丸となって連携を。
- ・AI を活用してビジネスチャンスを掴むには、「正しく恐れ、上手に使いこなす」こと。

「女性・子ども・魅力」関係

- ・女性創業者は地域貢献の意識が強い。地域との結びつきという面でも重要な役割。
- ・「子育ては女性がする」という意識が未だ根強い。
- ・岐阜県は資源が豊富で起業するのにはちょうどよい。
- ・地域の盛り上げのためにも地場産業の担い手維持の仕組みを。優良事例の共有・横展開を。
- ・育児を家庭だけに任せず、まち全体で支えていく仕組みがあると良い。
- ・岐阜は「何者になれるのかを試せる場所」「自分自身の物語を描ける場所」になり得る。
- ・観光は「量から質」への転換が重要。観光には「地域を育てる力」がある。
- ・高等教育機関は住民・行政と協働して若者を集める拠点になり得る。
- ・流出防止には地域の寛容度が必要。若者の意見の汲み上げや各機関の連携が重要。